

## 事業活動の継続と従業員の安全確保



エーザイ株式会社 執行役 総務・環境安全担当 **宮島 正行**  
Masayuki Miyajima

2019年12月に中国湖北省武漢市で病因不明の肺炎として検出された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に拡散し、2020年9月末時点の感染者数は3,000万人を超え、死者数は100万人に達しました。人類と感染症との闘いは、古くは14世紀のペストや1918年にヨーロッパで猛威を振るったスペインインフルエンザなどが知られています。2000年代に入ってからSARS、MARS、新型インフルエンザなど5年間隔でパンデミックは発生していますが、多くの企業が対岸の火事として捉え、十分な備えが来ていなかったと考えます。加えて、新型コロナウイルス感染症の危機管理は、これまでの単発的で局地的に発生する地震・豪雨災害とは異なり、連続的かつ長期的な対応が求められています。当社の危機管理対応も中国、日本、欧州、北米と次々と感染拡大していくなかで綱渡り状態でした。

当社の社会的使命は、生命関連物質である医薬品の安定供給です。しかし、人との接触を避けるという感染防止策と事業継続に向けた研究、生産活動は、長期間において通常は両立しません。幸いにも、様々なリスクに対応するために平時から原薬（医薬品の原料）

で1年分、製品にて6カ月分以上の在庫を保管しており、医薬品の安定供給を継続することができています。加えて、従業員とその家族の健康安全を第一義として、マスクや消毒液の配備、研究所・生産工場においては厳格な入退管理体制を敷き、従業員および家族の健康管理を徹底的に行いました。その結果、従業員とその家族を感染から守り、クラスター発生を阻止してきました。

新型コロナウイルス感染症との闘いは、いずれ収束すると信じていますが、従業員の安全確保に立脚した事業継続は、デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みにより大きく変革しようとしています。本社の間接部門では、Teamsなどの普及により、働く場所や時間に縛られない、新たなワーキングスタイルへの変換が加速しています。また、研究所や工場においてもRPA（Robotic Process Automation）によるスマートマニュファクチャリングやAIによる実験解析など、直接業務の自動化への取り組みを加速し、感染期においても安全を確保できる体制を目指して動き出しました。

これからも従業員の安全を最優先として、企業の使命を果たしてまいります。

### 公益財団法人総合安全工学研究所 理事・監事

理事長 (代表理事)	田村 昌三	東京大学名誉教授	理事	新井 充	東京大学名誉教授
専務理事 (執行理事)	小川 輝 繁	横浜国立大学名誉教授	理事	高木 伸 夫	(有)システム安全研究所所長
常務理事	福 富 洋 志	横浜国立大学名誉教授	理事	谷 質 生	日油技研工業(株)川越工場長
常務理事	若 倉 正 英	放送大学神奈川学習センター所長	理事	三 宅 淳 巳	横浜国立大学先端科学高等研究院 副高等研究院長・教授
		(国研)産業技術総合研究所客員研究員 (特非)保安力向上センターセンター長	理事	安 原 洋	東京通信病院病院長
			監事	河 野 晴 行	(公社)日本煙火協会専務理事
			監事	田 中 保 正	元(一社)日本芳香族工業会専務理事